



Press Release

The High Pressure Gas Safety Institute of Japan

報道関係者各位
プレスリリース

2026年1月23日



特別民間法人

高圧ガス保安協会
The High Pressure Gas Safety Institute of Japan

CCSパイプラインに関する基準 KHKS 0872 を発売しました。

高圧ガス保安協会（KHK）は、二酸化炭素排出削減に貢献する技術として期待される二酸化炭素回収・貯留（Carbon dioxide Capture and Storage : CCS）のための二酸化炭素輸送用パイプラインに関する基準を2025年12月18日付で制定しました。これに伴い、本年1月13日より、本基準の販売を開始しました。

2050年カーボンニュートラルに向けて、今後、脱炭素化が難しい分野におけるGXの実現が課題となっており、こうした分野における化石燃料・原料の利用後の脱炭素化を進める手段として、排出されるCO₂を回収して地下に貯留するCCSの導入が不可欠とされています。そうした中、公共の安全を維持し、海洋環境の保全を図りつつ、その事業環境を整備するために、2024年5月CCS事業法（二酸化炭素の貯留事業に関する法律）が成立・公布（2026年5月までに段階的に施行予定）となっています。

CCSは、排出されるCO₂の分離・回収、排出地から貯留地までの輸送、貯留地での貯留という主に3つの要素からなり、それぞれ社会実装に向けた検討が進められているところです。

CCS事業の成立に向け、その予見性の確保が重要となります。KHKではCO₂の特性を踏まえ、また、既存技術、既存法令等を勘案し、これらの要素のうち輸送、とりわけ導管輸送について、技術的要件の明確化が必要と考え、事業に関わる各社の投資判断時期にも配慮のうえ、必要と考えられる技術基準について検討を進めてきました。この結果、2025年12月18日付でCCSパイプラインに関する基準（KHKS 0872）の制定に至りました。これにより、導管輸送を含むCCSバリューチェーン全体の推進に寄与するものと考えています。

本基準は、ガス事業法、高圧ガス保安法といった国内法規を参考に、耐震性能をはじめとするCCSパイプラインに必要な技術的要件をまとめたものです。また、導管輸送が国際競争力をもつものとなるよう、国際整合性を意識した検討を行ってきました。本基準は、ISO 27913:2024を主に参考にするとともに、パイpline一般の既存基準である米国運輸省規則（49 CFR Part 195）、ASMEなども参考にして規定しています。

この基準は、規定内容の解説も含めて1冊の出版物とし、本年1月13日より販売しております（A4サイズ/62ページ/定価11,000円（税込）送料別）。ご購入は、以下のURL「KHK図書販売ECサイト」よりご注文ください。

https://www.weborder.khk.or.jp/product/book/list?category_id=99

【本件に関するお問合せ先】

（基準の内容について） 総務・企画部門 水素センター 担当：小山田、藤井

電話：03-3436-6135 Mail：h2@khk.or.jp

（書籍販売について） 試験・教育事業部門 担当：狩野、中山

電話：03-3436-6102 Mail：book@khk.or.jp